

## ● 海底ごみ見える化計画の活動実績

海底ごみ問題への認識を高め、その実態を知るために、様々な活動を展開しています。



### 海底ごみ目に見える化計画 in 高松沖 2009 海守さぬき会・NPO法人瀬戸内オリーブ基金 共催

高松市内4漁協（高松市瀬戸内漁協・香西漁協・女木島漁協・男木島漁協）所属の小型底曳網漁船94隻の協力のもと、備讃瀬戸海域である高松市沖の海底堆積ごみの実態調査を行ないました。

また会期中、子供たちへの体験型環境学習会、海ごみ展示報告会（高松市役所市民ホール）なども開催しました。



- ・ 2009年7月30日 海底ごみ漁協説明会
- ・ 2009年8月2日 海底ごみ回収出発決起集会  
大漁旗を立てて高松市瀬戸内漁協を出港  
（回収期間は、お盆休み除く8/20まで）
- ・ 2009年8月9日 子供たちへの体験型環境学習会「夏休み海底ごみ学習会」  
講師：磯部作氏（日本福祉大学教授）  
塩飽敏史氏（水島地域環境再生財団研究員）  
底引き網漁の仕方と海底ごみの実態、漁業や島の生活などを学習しました。また講師の先生方に子供たちへの夏休み自由研究の指導をお願いしました。





またこの年から「香川県海岸漂着物等の発生抑制に係る普及啓発業務」を海守さぬき会が受託。その後、同会主宰による「故郷の海レスキュー隊計画2010・2011」が実施されました。



### 海底ごみ目に見える化計画 2011



損保ジャパン「Save Japan プロジェクト」の一環として、ガールスカウトなど、子どもたちを招き、海ごみについて体験学習を実施しました。海底ごみの発生源は陸地から捨てられたごみなので、学習会の前半に奉仕活動として香東川の河川敷でごみ拾いを実施しました。その様子は、テレビのチャリティ番組でも放映されました。その後、底引き網漁を海上見学。漁船に乗せてもらい海ごみの実態を観察しました。また海上保安本部協力で施設の会議室を借りて勉強会も実施しました。

- ・2011年8月4日                    海底ごみ学習会  
   講師：磯部作氏（日本福祉大学教授）  
   塩飽 敏史氏（水島地域環境再生財団研究員）

